

事業番号	09 03 11	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	原木安定供給体制確立事業				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-6 農山村産業クラスター形成プロジェクト 3-2-4 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト			課・室	信州の木活用課 県産材利用推進室		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進			E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H25 ~ H27		

1 事業の概要

目指す姿	原木を安定的に供給する体制を強化し、信州F・POWERプロジェクトにおいて整備する集中型木材加工施設など、県内の木材加工施設が安定的に県産材を活用することにより、地域経済を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業を目指す。 ○成果目標：素材生産量 平成32年に75万m3		
現状（予算編成時）	○本県の森林資源を活かしきるため、大半が未利用となっている間伐材等を活用しながら、生産性が高く、自立的な林業を再生する「信州F・POWERプロジェクト」を推進している。 ○集中型木材加工施設及び木質バイオマス発電施設への安定的な原木の供給体制の構築が課題となっている。 ○検討委員会開催5回、シンポジウムの開催・技術交流会の実施2回（H25見込み）		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 森林整備加速化・林業再生基金活用事業	
県民との協働による実施：実施は困難			

成果目標・事業内容	① 成果目標（H26）			
	①検討委員会開催 5回 ②伐採ガイドライン作成 1式 ③シンポジウムの開催・技術交流会の実施 2回			
	② 事業内容 (単位：千円)			
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初) (決算) H27 (当初)
検討委員会開催	直接	○原木の安定供給に向けた検討委員会の開催 ○方向性の検討と関係機関との調整を担う戦略会議	715 460	
伐採ガイドラインの作成	補助	○森林の持続的を担保しつつ、原木の安定供給するためのガイドラインの作成	1,800 1,800	
普及啓発活動	直接	○機運の醸成を図るためのシンポジウムの開催 ○林業立国オーストリアとの技術交流の実施	985 985	
合計			3,500 3,245 0	

事業コスト	区分(単位：千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算		5,368	3,500	0
	補正予算				
	合計(A)	0	5,368	3,500	0
	Aの財源				
	一般財源				
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	5,368	3,500	0
決算額(B)		4,746	3,245		
概算職員数(人)		0.30	0.30		
概算人件費(C)	0	2,477	2,477	0	
概算事業費(B(A)+C)	0	7,223	5,723	0	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
検討委員会開催	5	5	12	達成	-
伐採ガイドライン作成	0	1	1	達成	-
シンポジウムの開催・技術交流会の実施	2	2	8	達成	-

目標に対する成果の状況	検討委員会は、サプライチェーンセンター構成員を中心に、需給調整会議等として実施した。 伐採ガイドラインについては、長野県木材協同組合連合会の助成により、作成できた。 シンポジウムは1回開催、原木規準研修会を7回実施する等、目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 サプライチェーンセンター構成員を中心とした需給調整会議により自立した機構として、木材の需給調整を実施する。
--------------------	--